

令和6年第1回下松市教育委員会定例会議事録

- 1 開催日時 令和6年1月25日（木）午後1時30分～午後2時10分
- 2 開催場所 下松市役所 5階 502会議室
- 3 出席委員等

教育長	玉川 良雄
委員	江口 雄二
委員	林 哲人
委員	木佐谷 真理子
委員	笠谷 由美子
- 4 会議に出席した事務局職員

教育部長	河村 貴子
教育次長	深野 浩明
学校教育課長	藤田 康伸
学校給食課長	小林 政幸
生涯学習振興課長	引頭 康行
図書館長	長弘 純子
- 5 会議の書記 教育総務課課長補佐 金子 麻紀
- 6 会議録の署名委員 林 哲人 木佐谷 真理子
- 7 会議の傍聴人 0人
- 8 会議に付した議題
- (1) 報告第1号 令和6年下松市二十歳のつどいについて
- 9 会議の付議の顚末

○**教育長** それでは、1月の教育委員会定例会を開始いたします。

本日の議事録署名委員ですが、林委員、木佐谷委員、よろしくお願いいたします。

それでは、早速ですが、議事のほうに入ります。

(1) 報告第1号 令和6年下松市二十歳のつどいについて

○**教育長** (1) 報告第1号、令和6年下松市二十歳のつどいについてを議題といたします。

担当課長のほうで説明をお願いいたします。引頭生涯学習振興課長。

○**生涯学習振興課長** 報告第1号、令和6年下松市二十歳のつどいについて報告いたします。

資料は1ページになります。

本年1月7日日曜日、午前11時からスターピアくだまつ大ホールにおいて、令和6年二十歳のつどいを開催いたしました。委員の皆様におかれましては、ご多用のところをご

出席賜りありがとうございました。

今年の集いでは、資料の1ページのとおり462名の二十歳の成年、それからその保護者が出席して、晴れの門出を喜び合っていました。出席率は、対象者556名ですので、83.1%ということになります。昨年は80.56%ですので、若干増えたような状況になっております。

昨年6月から実行委員会のメンバーを募集、それから8月から12人の実行委員、そのうち6人が高校生というメンバーで企画等を考えながら準備を進めてまいりました。新たな企画としては、下松高校美術部の方のフォトスポット、それから同じく美術部の写真班による写真撮影、そしてその写真はSNSにアップして、みんなが見ることができるようにしております。

そのほかは、某テレビ番組の企画をした成年の主張という企画を実施しました。3名の発表者が家族や友人へ感謝の気持ちなど、それから中学生のときに言えなかったことなどそれぞれの思いを叫ぶ、そういった企画を行いました。また、毎年企画として、恩師からのビデオレターの放映、またおたのしみ抽せん会では市内6事業者26商品の協賛品を提供していただき、抽せん会を実施いたしました。

以上で、二十歳のつどいについての報告を終わります。

○教育長 それでは、この二十歳のつどいにつきまして報告がありましたが、質問がある方は挙手をお願いいたします。ご意見でも結構ですが、林委員。

○委員 2点あるのですが、1点は以前、2回目だったと思うのですが、高校生が一緒になって参加してくれること、今回は部活関係も含めてですけれど、非常に自分たちが、次は自分たちの番だということを意識する点ですごくいいなと思いました。相当活躍の場があったなと思います。

もう1点は、司会者の中に吃音の子がおられて、その子が司会をしてくれて、ゆっくり一生懸命やっていたのですけれど、会場のほうでは、非常に温かい雰囲気で見守ってくれていたなという、どういういきさつかはわかりませんが、非常に温かくてちょっと感動しました。

以上です。

○教育長 何かございますか。引頭課長。

○生涯学習振興課長 高校生の実行委員会の参加につきましては、毎年度、実は高校には募集案内はしておりますが、勉強や部活もありますし、なかなか参加していただけてはいませんでしたが、今回はたくさん参加していただいて、一人が参加して友達を連れてくるというような感じで結局6人も参加となり、学校でいえば下松高校、華陵高校、徳山商高、いろいろな学校から来ていただきました。

その中の一人が美術部ということで、美術部の協力もたくさんいただくことができたというふうになっております。来年は今回参加して下さった高校生は受験生になるので、なかなか参加は難しいかもしれませんが、また数年後、自分たちのときにこういった企画

から参加してもらえたらなというふうに思っております。

司会の方につきましては、本人の希望で司会をやりたいということがございましたので、しっかり練習をしてきてくれて何とか高校生と一緒に無事に務めることができました。

以上です。

○**教育長** 江口委員。

○**委員** 今のお話、本当に僕も感激してよかったと思います。全体的に年々ですね、運営がうまくなっていくような感じがして、また観客席も静かになったし、今までちょっと前で騒ぐ人もいたけれども、今年は全然いなかったように感じました。親御さんも、またちょっと増えてきているのですね、出席率が。何かとてもいい傾向です。この83.1%というのは、近隣に比べて多いのでしょうね。

○**教育長** 引頭課長。

○**生涯学習振興課長** もともと昔から親御さん、保護者の方の出席というのも下松市では行っていたのですが、今回用意した保護者席が満員状態になるぐらいたくさんの方が会場に入られました。本当にいろいろな方からも言われたのですが、今年の二十歳の方は行儀がいいというか、静かに話を聞くときは聞くということで、いろいろな方面からお褒めの言葉もいただいております。

それと、出席率ですが、新聞を見ますと他市よりは多い出席率になっているかと思えます。

以上です。

○**教育長** そのほかございますか。よろしいでしょうか。それでは、報告第1号につきましてご了承のほうよろしくお願いいたします。

議題は以上であります。

～ その他報告・連絡事項 ～

○**教育長** 続きまして、その他の報告事項について、ご説明をしていただきたいと思います。

まず、花岡小学校特別教室棟改築工事の進捗状況についてお願いいたします。深野教育次長。

○**教育次長** それでは、花岡小学校特別教室棟改築工事の進捗状況につきまして説明をさせていただきます。

資料につきましては、写真がついた資料が3枚あるかと思いますので、合わせてご覧いただければと思います。

工事の概要といたしましては、既存の第4校舎と給食室を解体いたしまして、新たに特別教室棟と給食室を建設する、そういった工事になっております。新たに整備される教室につきましては、新しい教室といたしまして家庭科室、通級指導教室、図工室、外国語教室というところで整備をされる予定となっております。

進捗状況につきましては、工事に着手いたしましたのは昨年3月に工事に着手をしております。以後、順調に工事を進めてきておりますが、まず昨年3月から解体工事を進めまして、第4校舎の解体を進めておりました。第4校舎解体後、新たな給食室の建設に着手をしています。それで、8月には新しい給食室が完成しまして、2学期から供用開始をしております。

写真につきましては、1枚目の左側の写真になります。こちらのほうが新しい給食室になっています。それと、こちらの新しい給食室が完成いたしまして、古い給食室につきましては、8月から解体にかかりまして、その解体が済みまして特別教室の建設に着手をしております。

写真の右側のほうの鉄骨が組んである写真が、これが新しい特別教室棟の写真になります。この写真につきましてはちょっと前の写真になりますので、今現在の進捗状況といたしましては、主体部分の骨組みが出来上がって、あと屋根と外壁の工事をしております。

今後の予定ですけれども、内装工事、それから電気配線、給排水、それから外構工事等を予定しております、3月の工期には完成する予定となっております。完成の際には内覧会を実施する予定にしておりますので、日程等が決まりましたら、またご案内いたしますのでよろしくお願いいたします。

教育総務課のほうからの説明は以上になります。

○教育長 花岡小学校の特別教室棟は、工事は順調にいつているという説明がございましたが、これが上がるのが3月ですかね。

○教育次長 完成につきましては、3月中の予定どおりの工期で順調に進んでおります。

○教育長 内覧会は、教育委員さんにご案内しますか。

○教育次長 ご案内する予定ですので、またお知らせいたしますので、よろしくお願いいたします。

○教育長 大体、いつ頃ですか。

○教育次長 3月25日あたりで調整をしておりますので、また正式に決まりましたら、ご連絡いたします。しばらくお待ちください。

○教育長 そのほかありましたら、よろしくお願いいたします。よろしいですか。藤田学校教育課長。

○学校教育課長 今、花岡小学校の特別教室棟について説明があったと思うのですが、その中に入る通級指導教室について、資料を基にご説明をしたいと思います。

今、お手元にある資料1枚目でございますが、これは例年小学校入学前の1日入学のときに配布されている資料でございます。通級指導教室について説明がありまして、ざっくり言うと通常学級に在籍する児童生徒が、大部分の授業を在籍する学級で受けながら、一部が特別な指導を特別な場で受ける教育の形態というふうに理解しております。

対象となる児童生徒になりますが、資料1枚目の1のところにありますように、通常の学級に在籍し、学習上または生活上の困難の改善、克服を目的とする指導が必要とされる

児童生徒が対象です。具体的には、例えば言葉のつまずきであるとか、コミュニケーションの課題、そういったものが対象になっております。

現在、市内の学校では下松小学校、公集小学校、下松中学校に設置がされており、その他の小中学校の児童生徒につきましては、保護者が連れて放課後に通級指導にその学校に行っているということになっております。

このたび、花岡小学校に新設されることによって、花岡小学校では授業時間に自校での通級指導が可能になるということでございます。そのほか、2番から詳細について書いてありますので、また資料のほうはご覧いただけたらと思っております。

そして、2枚目の6年度、下松市通級指導教室設置計画案をご覧ください。

これにつきましては、令和6年度に予定されている設置校や、その通級担当教員数、さらに各学校の通級に通う児童生徒数、これが示されています。すみません。ちょっと訂正があるのですが、豊井小学校はゼロになっていますけれど、間違いで1のままです。この修正をお願いいたします。

先ほど申し上げましたように下松中学校、それから公集小学校、下松小学校には通級指導教室がございますので、花岡小学校に新設になると、ここに指導する教員が必要になります。今、想定2というふうに考えていて、県教委に2名の加配教員の増加を希望しているところでございます。予定どおりにつくと、今そこに赤で字が示してありますが、この教員配置になるということでございます。

そうすると、花岡小学校は下松小学校に通っておりましたので、下松小学校から花岡小学校分の子供たちが減って下松小学校には少しの余裕ができることになります。花岡小学校については、来年では33名の予想です。

なお、加配の増員の見込みとしましては、県教委のほうが県全体のバランスを鑑み、配置してまいりますので2名、下松市内にもらえないということも当然想定されます。その場合には、例えば加配が1名しかつかなかった場合につきましても、市内全体の児童生徒数のバランスも考えながら、新規の1名とそれから今のほかの学校から1名を異動させながら、花岡小学校には2名を確保してまいりたいと思います。

その場合には、下松小学校から花岡小学校の子供たちが、花岡小に引き上げになりますので、下松小学校5名のところが4名になる可能性が今高いというふうに考えております。

現在、ほかの学校にも新設していったらどうかという話もあるところなのですが、加配の問題もございますし、例えば教員を今のある学校から派遣してやるとか、そんな形に少し工夫できないかなとは考えているところです。

以上です。

○教育長 花岡小学校特別教室棟の建設に伴って、特別教室だけでなく通級の教室が1階に3部屋設置といいますか、開設をされます。これは教育委員会、市の特別支援教育の指導の充実ということで、通級教室を設置したところであります。最大教員が3人同時に指導できるようにということで、3部屋をつくっております。来年度は2名の教員が配置され

る予定ということです。

今この4校、中学校1校と小学校3校に通級教室があるわけですが、今本市の場合は、この3校の子供たちは自校で通級指導を受けられますし、それ以外の学校、小規模校、中規模校の子供たちについては保護者の引率の下、サブセンターの下松小や公集小に行って通級指導を受けるという形態をとっております。

将来的にはこの形でずっといくのか、あるいは先ほど説明もありましたが、教員が巡回をして久保小とか東陽小、中村小等に巡回をして、そこの教室で指導をしていくのか、こういったことも今考えてはおります。年々通級を利用する子供たちが増えておりますので、まずその環境の充実と、それから中身についてもしっかり個に応じた指導ができるように力を入れていきたいと考えております。

また内覧がある際に見ていただけたらというふうに思います。

それでは続きまして、卒業式についてちょっと変更があるのですかね。説明をお願いいたします。藤田学校教育課長。

○学校教育課長 それでは、卒業式についてご説明をしたいと思います。

資料は特に用意してはございませんので、口頭で説明させていただきます。今年度の卒業式につきましては、小学校は3月19日の火曜日、中学校は3月8日の金曜日に実施されます。

新型コロナウイルス感染症が、5類感染症に移行してから初めての卒業式となります。学校生活も随分と通常の生活を取り戻してまいりましたが、各学校におきましては様々な見直しによって、安心して子供たちが主役となれる活動や行事が検討され、卒業式も同様に見直しがされてきたところです。

そうした中、市教委としましては学校の取組を踏まえまして、祝意を示す方法を検討してきたところであります。昨年度までですが、お祝いメッセージを送るという形をとっておりました。出席を控えるという形でございます。今年度につきましては、先ほど申し上げましたように通常に戻りつつあるということを踏まえまして、市または教育委員会からどちらか1名は来賓として出席できるように考えております。

具体的には小学校7校ございますが、小学校は市長、副市長、教育長、教育委員の皆さんの7名で対応する。それから中学校は3校ございますが、これについては市長、副市長、教育長の3名の方でそれぞれ出席をするというふうに、市教育委員会からどなたか1人は行って、祝辞または告辞を述べるというふうに対応していきたいというふうに考えております。

つきましては、皆様には既にお知らせしてありますと思いますが、小学校に来賓としてご出席をいただき、告辞を述べて子供たちの門出をお祝いしていただけたらと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、教育委員会が出席する場合には、皆様が出席される場合には市長の祝辞については、前のように紙を基にしたメッセージという形になり、市が出席する場合には教育委員

会の告辞というものが同じようにお祝いのメッセージという形になります。

以上でございます。よろしくお願いします。

○**教育長** 本年度当初までは、教育委員会、そして市の来賓の出席はコロナの関係で見合わすという方針でありましたけれど、他市の状況あるいはコロナが5類に変わったということもあって市、教育委員会から子供たちの門出をお祝いしようという趣旨で1名の出席を学校のほうにお願いをしたところでもあります。方針が変わってしまいましたが、どうぞご理解のほどをよろしくお願いいたしますというふうに思います。今の点につきまして、何かご質問とかお気づき等ありましたらお願いいたします。

教育委員会のメッセージと、それから市長のメッセージは掲示のような形になるのかね。藤田課長。

○**学校教育課長** 掲示できるような形にはしておこうと思います。学校によっては、それを例えば印刷されて卒業式の資料の中に一緒に入れ込んで、せっかくですから保護者とか子供たちにも見てもらいたいというふうに対応してくださるところもあります。

○**教育長** そのほか、よろしいですか。またご案内を正式にいたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。その他ございますか。金子課長補佐。

○**教育総務課課長補佐** 2月の行事予定をお伝えします。

2月は、29日木曜日に定例会が行なわれます。よろしくお願いします。

○**教育長** この行事予定のほかに特にお知らせすることはありますか。引頭課長。

○**生涯学習振興課長** 2月3日の講演会ですが、資料のほうには展示ホールとなっておりますが、予想以上の申し込みがありまして大ホールに変更いたしましたので、申し込んでおられる方は大ホールのほうにお願いいたします。

○**教育長** では、300人を超えたということですか。

○**生涯学習振興課長** 310人ぐらいです。

○**教育長** その他ございますか。

以上で本日の教育委員会定例会を閉じたいと思います。皆さんお疲れさまでした。

午後2時10分終了